

沖縄県黒島方言の動詞・形容詞・談話

荻野千砂子（福岡教育大学）

原田走一郎（国立国語研究所）

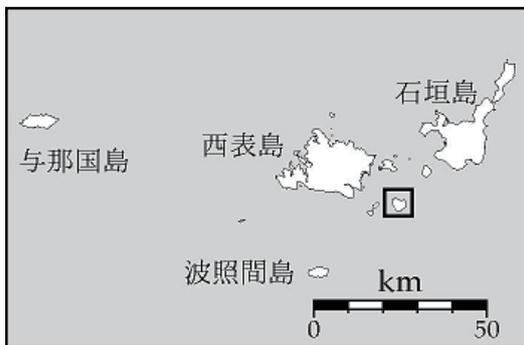
0. 沖縄県八重山郡竹富町黒島

竹富町は石垣島から見て南西方向にある大小 16 の島からなる。黒島は東経約 124 度、北緯約 24 度の位置にあり、石垣島から南南西に約 17 km 離れている。石垣島から高速船に乗ると約 30 分で黒島港に着く。黒島の面積¹は 10.02 km²、島の形はハート型をしており、地形としては平坦な島である。

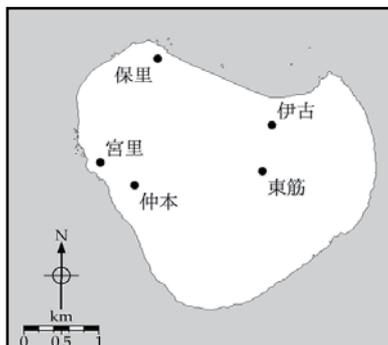
黒島の人口は 216 人で²、島内には、宮里（みやざと）、仲本（なかもと）、保里（ほり）、東筋（あがりすじ）、伊古（いこ）の 5 つの集落がある。この中で現在宮里集落には外部からの移住者のみが住んでいる。従って黒島方言が使用されているのは、東筋・仲本・保里の 3 集落となる。集落の規模では東筋集落が最も大きい。そのため、東筋集落が黒島方言の代表とされることが多いが、仲本集落・宮里集落・保里集落とで異なる場合があり、注意が必要である。かりまたしげひさ(2010)では、東筋集落と仲本集落で母音の長さが違うことや、子音が異なることが指摘されている（例：[s]〈東筋〉対 [ts]〈仲本〉など）³。また、伊古は糸満からの漁業従事者が居住していた集落であり、黒島方言とは異なると認識されている。

今回の調査では、東筋集落の男性 1 人、女性 2 人、保里集落の男性 1 人、女性 1 人、仲本集落の男性 1 人に御協力を頂いた。黒島では畜産業が盛んであり、70 歳 80 歳の方でも仕事に従事している。また、漁業や観光業に携わる方々もいて、それぞれの仕事の合間に時間を作って調査に協力して下さった。話者の方々の多大な御協力に感謝を申し上げる。

地図 1 八重山諸島の黒島の位置



地図 2 黒島の集落の位置



1 国土地理院 HP より。

2 竹富町役場 HP 竹富町地区別人口動態表（平成 29 年 1 月末）より。

3 かりまたしげひさ (2010) 「八重山黒島東筋方言と黒島仲本方言」『琉球八重山方言の言語地理学的な研究』平成 19、20、21 年度科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書

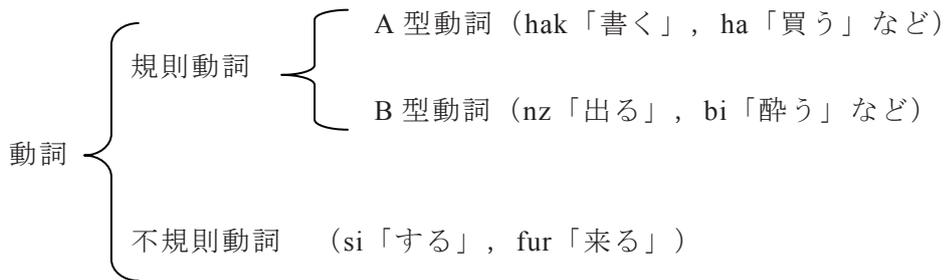
(地図 1, 2 は Thomas Pellard 氏の作成による)

1. 動詞活用

本節では黒島東筋方言の動詞の活用タイプについて述べる。

東筋方言の動詞の活用タイプは、以下のように分類される。

(1) 黒島東筋方言の動詞活用タイプ



動詞活用タイプはまず大きく不規則動詞と規則動詞に分けられる。不規則動詞には2つの動詞, si 「する」と fur 「来る」が含まれる。規則動詞は2つのタイプ, A 型と B 型に分けられる。おおまかに A 型は日本語共通語の子音語幹動詞に, B 型は母音語幹動詞に対応するが, あくまで傾向である。また黒島東筋方言の語根を基準に考えた見た場合, 語根末音での区別は意味をなさない。

A 型動詞は, 非過去-u, 過去-(u)ta, 勧誘-a, 否定-an, いわゆる連用-i, 中止-iti などの接尾辞をとる。以下の例では, 飛ぶ, 漕ぐ, 行く, 降る, 蹴る, 切る, 掘る, 持つ, 買う, もらう, 飲む, 食べる, 遊ぶ, 洗う, かぶる, 寝る, 着る, 見る, 言う, 死ぬ, ある, が該当する。

B 型動詞は, 非過去-iru, 過去-ita, 勧誘-u, 否定-un, いわゆる連用-i, 中止-iti などの接尾辞をとる。以下の例では, 降りる, 落ちる, 捨てる, くれる, 酔う, 閉じる, 起きる, 座る, が該当する。

なお, 落とす, 売る, などは使役接尾辞が後接するかたちになっており, 特殊な活用を示す。過去は-itaでありB型と共通するが, 否定は-anでありA型と共通する。また, 動詞の活用に関しては, 本稿末に原田・荻野 (2015) を参考文献として挙げているのでそちらも参照してほしい。

以下, 動詞の活用の例を挙げる。表記は簡易的な音声表記とした。注意すべき表記として「c」をあげる。「c」は無声歯茎破擦音[ts]を原則として表すが, 「ci」の場合は口蓋化し, [tci]で実現する。=は接語境界を表す。また, (2)~(95)は荻野が担当し採取した用例であり, (96)~(182)は原田が担当して採取した用例である。黒島方言における助詞「は」の分析等形態素に関して両者の見解が異なるため, (96)~(182)では簡易音素表記を一行目に書き, 二行目に形態素に分析した形を書くこととした。黒島方言は形態音韻規則が多いため, ここではカバーしきれない。この点については原田 (2016) を参照のこと。

- (2) garasaa=jun patu=n taka=n muuru tubi paru=waja.
カラスも鳩も鷹も飛んでいったよ。
- (3) ubu tun=nu tubi beer.
大きい鳥が飛んでいた。
- (4) kjuu=ja waasiki=nu wassa=tti hikooki=nu tubanu=waja.
今日は天気が悪いから、飛行機が飛ばないよ。
- (5) manuma tun=nu tubi patta=waja.
今、鳥が飛んだよ。
- (6) tubi uri miri.
飛び降りてみろ。
- (7) keera=si huni=ju kuu=dura.
みんなで船を漕ぐよ。
- (8) taaru=n huni koonun=dura.
誰も船を漕がないよ。
- (9) manuma keera=si huni=ba kui buu=dura.
いま、みんなで船を漕いでいるよ。
- (10) uva=n huni=ju kui=ti atu=hora jakui.
おまえも船を漕いで、後から休め。
- (11) ubuza mainici tuman=ha paru=dura.
おじいさんは毎日海へ行くよ。
- (12) waasike=nu jabiriba tuman=ha paranun=dura.
天気が悪いから海へ行かないよ。
- (13) kinoo=ja tuman=ha pareetan=dura.
昨日は海へ行ったよ。
- (14) bana tuman=ha gii=tti onda=du siiru./ ui=tti kee=doo.
私は海へ行って、泳いだ。/泳いできた。

- (15) uva tuman=ha=ja tanka gi=tti kuu.
おまえは海へ一人で行ってこい。
- (16) kjuu=ja dusinkii=nu jaa=ha fuu=dura.
今日は友達が家に来るよ。
- (17) ubuza kjuu=ja jaa=ha kuunun=dura.
おじいさんは今日は家に来ないよ。
- (18) kinu dusinki=nu jaa=ha keetan=dura.
昨日、友達が家に来たよ。
- (19) ituku=ja manuma jaa=ha ken=dura.
いとは、今、家に来ているよ。
- (20) kii bun=dura.
(何日もよく) 来ているよ。
- (21) uma=ha kuu.
こっちへ来い。
- (22) uva ittuki uma=ha kii miri.
おまえ、ちょっとこっちに来てみろ。
- (23) munuma sugu ami=nu vuu=waja.
もうすぐ雨が降るよ。
- (24) kutusee ami=nu vaanu=wara.
今年は、雨が降らないね。
- (25) kinoo=ja ami=nu vetta=waja.
昨日は、雨が降ったよ。
- (26) manuma ami=nu vii buu=dura.
今、雨が降っているよ。
- (27) uma=na uriru=waja.
ここで降りるよ。

- (28) bana uma=n=na urunun dura.
私, ここでは降りないよ。
- (29) bana uma=n=du basu=hora uri=dura.
私はここでバスから降りたよ。
- (30) basu=ba uri=ti denwa hakiriba.
バスを降りて, 電話をかけなさい。
- (31) usitu=nu basu=hara uri keehen=dura.
弟がバスから降りてきたよ。
- (32) uma=na uru.
ここで降りよう。
- (33) san=nu kii=hara uti=waja.
猿も木から落ちる。
- (34) san=nu kii=ba ookasi buru=nu utunu=waja.
木を揺らしても, 猿は落ちないよ。
- (35) niisan=nu kii=hara uti=waja.
お兄さんが木から落ちた。
- (36) niisan=nu kii=hara uti=te manuma bjooin=na=du buu=waja.
兄さんが木から落ちて, 今, 病院にいるよ。
- (37) kunu san=na kii=nu mi=ja utahanu=waja.
この猿は木の実を落とさないよ。
- (38) kinu haa=ha isi=ba utasee=waja.
昨日, 井戸に石を落とした。
- (39) boosi=ba utasi=ti turi=n geetta=waja.
帽子を落として, 取りに行ったよ。
- (40) uva kii=nu ui=ha noori=ti naru utahai.
あなたが木の上のにのぼって, 実を落とさないよ。

- (41) usi=n mma=n pan=si pusu=ju kiru=waja.
牛も馬も人を蹴るよ。
- (42) unu mma utunasa=tti pusu=ju kiranu=waja.
この馬はおとなしくて，人を蹴らないよ。
- (43) hanu mma kinoo pusu=ba kiree dura.
あの馬は，昨日，人を蹴ったよ。
- (44) pusu=ba kiri=ti sugu paressu=waja.
人を蹴って，すぐ逃げたよ。
- (45) unu booru=ju uma=ha kiri parahai.
そのボールをこっちに蹴ってくれ。
- (46) usitu=nu mainici fukuzi=ju sitiru=waja.
弟が毎日ごみを捨てるよ。
- (47) bana vuu kin=jun atarasa=tti situnun=dura.
私は古い着物がもったいなくて捨てないよ。
- (48) manuma sititta=waja.
今捨てたよ。
- (49) vuu munu=ja siti=ti ara munu=ba haiba.
古い物を捨てて，新しいものを買いなさい。
- (50) manuma=hara kisun=dura.
今から切るよ。
- (51) uma=nu kii=ja kisanun=dura.
こっちの木は切らないよ。
- (52) nukin=si manuma kisen=dura.
のこぎりで今切ったよ。
- (53) kii=ju kisi unu juda=ju marakiba.
木を切って，枝を全部たばねなさい。

- (54) see=nu unu kii=ba maka maka kisi buru=waja.
お兄さんが、この木を短く切っているよ。
- (55) iza tun=nu pan=ba fubiri usukee=waja.
お父さんが鳥の足をしばっておいたよ。
- (56) manuma fubiritta.
今、縛ったよ。
- (57) uva tun=ju fubiri viiri.
あなたが、鶏を縛ってくれ。
- (58) kjuu=ja un=na puranun=dura.
今日は、芋は掘らないよ。
- (59) uri=si=du un=na putta=tti=ju.
それで芋は掘ったってよ。
- (60) uva un=ba puri=ti ittuki jakuiba.
あなた、芋を掘って、少し休みなさい。
- (61) uma=nu un=ba puri kuba.
あそこの芋を掘ってこい。
- (62) ami=nu pin=na dango nzahanun=dura.
雨の日には、荷物を出さないよ。
- (63) dusinkii=nu dangu minaha=ha nzasee=dura.
友達が荷物を庭に出したよ。
- (64) nii dangu=ju minaha=ha nzasi=ti=hera hairiba.
荷物を庭に出してから帰れよ。
- (65) guffa=tara mazun nzaha.
重かったら、一緒に出そう。
- (66) paaku nii dangu=ba nzasi kuu.
早く荷物を出してこい。

- (67) usitu tanka=si icinnu nimucu=ju(nii=ju) mutun=dura.
弟はいつも一人で荷物を持つよ。
- (68) paa=ja icinnu nii=ja mutanun=dura.
おばあさんは、いつも荷物を持たないよ。
- (69) usitu=n musu=ba mute=waja.
弟も筵を持った。
- (70) taro=n=du saki=ba muti=te hanako=ja okazu=ba mutee.
太郎は酒を持って、花子はおかずを持った。
- (71) paaku saki=ba muti kuu.
早く酒を持ってこい。
- (72) mazun mutaa.
一緒に持とう。
- (73) un=naa haanu=nu=du mai=ja hau=dura.
いもは買わないが、米は買うよ。
- (74) taaru=n un=na haanun=dura.
誰もいもは買わないよ。
- (75) bana kinoo izu=ba hajaata=waja.
私は昨日魚を買ったよ。
- (76) ava=ba hai kuu.
油を買ってこい。
- (77) mainici jasai=ju haasu=waja.
毎日野菜を売るよ。
- (78) unu psou duu=nu waa=ja haahanun=dura.
あの人は自分の豚を売らないよ。
- (79) haasitta=waja.
売ったよ。

- (80) pisida=ba haasi=tti usi=ba hajaa=dura.
山羊を売って、牛を買ったよ。
- (81) unu usi=ju ban=ha haasi taboori.
この牛を私に売ってください。
- (82) bana icinnu=n usitu=ho koosi=ba vii buu=dura.
私はいつも弟にお菓子をやるよ。
- (83) unu ffa=ha=ja vuunun.
この子にはやらないよ。
- (84) usito=ho=ja joohuku=ba vii=ti midumunu=nu usito=ho=ja giipa=ju vitta=waja.
弟に洋服をやって、妹にかんざしをやったよ。
- (85) bana joohuku=ba vii buu=dura.
私は弟に洋服をやるよ。
- (86) vii miriba.
あげてみたら。
- (87) gumaa gumaa=nu han=na taaru=n iiranun=dura.
小さなカニは誰ももらわないよ。
- (88) tunan=nu pso=hara daikuni=ba iire=dura.
隣の人から大根をもらったよ。
- (89) baso baso=ja tunan=nu pso=hara izu=ba iiri buu=dura.
時々隣の人から魚をもらうよ。
- (90) ubu izu=ba iiri=ti keera=si bakita=dura.
大きな魚をもらって、みんなで分けた。
- (91) baa butoo saki=ja mumanun.
私の夫は酒を飲まない。
- (92) saa=ja kisa numeeta=waja.
お茶はさっき飲んだよ。

- (93) taroo saki=ba numi buru=waja.
太郎は酒を飲んでいるよ。
- (94) fusin=ba paaku numi=titi nivi.
薬を早く飲んで寝ろ。
- (95) unu fusin=na amahariba paaku numi miri.
この薬は甘いから早く飲んでみろ。
- (96) junainu iiba vaiti kee.
junai=nu ii=ba vvaiti kee.
夜ご飯は食べてきた。
- (97) pisidaa zaajudu voo.
pisida=a zza=ju=du vvoo.
ヤギは草を食べる。
- (98) pisida habiju vaanun.
pisida habi=ju vvaanun.
ヤギは草を食べない。
- (99) majanudu izuba vootta.
maja=nu=du izu=ba vvootta.
猫が魚を食べた。
- (100) muuru vai naanun.
muuru vvai naanun.
全部食べてしまった。
- (101) pukana asabu.
puka=na asabu.
外で遊ぶ。
- (102) vaaffa nakka asabanun.
vvaffa narka asabanun.
暗くなると遊ばない。
- (103) pukanadu asabuta.
puka=na=du asabuta.
外で遊んだ。

- (104) asabidu bur.
asabi=du bur.
遊んでいる。
- (105) gakkona asabidu haitta
gakko=na asabi=du haitta.
学校で遊んで帰った。
- (106) pukana asabidu kuu.
puka=na asabi=du kuu.
外で遊んで来い。
- (107) unu sakee sugu biitari sii.
unu saki=a sugu biitari sii.
この酒はすぐ酔っばらう。
- (108) unu sakee sugoo bjuunundo.
unu saki=a sugu=a bjuunun=do.
この酒はすぐには酔わないよ。
- (109) uraari numiti biita.
uraari numiti biita.
たくさん飲んで酔った。
- (110) unu pusoo biidu buruwaja.
unu pusu=a bii=du buru=waja.
この人は酔っているよ。
- (111) biitaridu kinoonu kutu bassi naanunwaja.
biitari=du kinoo=nu kutu bassi naanun=waja.
酔っばらって昨日のことを忘れてしまった。
- (112) uraari numitidu bii naansa
uraari numiti=du bii naan=sa.
たくさん飲んで酔ってしまった。
- (113) mainici amazanu kiiju araun.
mainici amaza=nu kii=ju araun.
毎日髪の毛を洗う。

- (114) ubuzaa mainicjee kiiju araanun.
 ubuza=a mainici=a kii=ju araanun.
 おじいさんは毎日は毛を洗わない。
- (115) tiipanju arauta.
 tiipan=ju arauta.
 手足を洗った。
- (116) abunudu tirba arai buu
 abu=nu=du tir=ba arai bur.
 お母さんがザルを洗っている。
- (117) tiipanba araiti iija vaiba.
 tiipan=ba araiti ii=a vvai=ba.
 手足を洗って、ご飯を食べろ。
- (118) siran araiti kuu.
 sira=n araiti kuu.
 顔も洗ってこい。
- (119) marumahara habun.
 maruma=hara habun.
 今からかぶる。
- (120) tarn kubagasaju habanunwaja.
 tar=n kubagasa=ju habanun=waja.
 誰もクバ笠をかぶらないよ。
- (121) baharu sjee keeja kubagasaju habuttan.
 baharu sjee kee=a kubagasa=ju habuttan.
 若い頃はクバ笠をかぶった。
- (122) kubagasabadu habi buu.
 kubagasa=ba=du habi bur.
 クバ笠をかぶっている。
- (123) kubagasaba habidu sababa fumetta.
 kubagasa=ba habi=du saba=ba fumetta.
 クバ笠をかぶって、ゾウリを履いた。

- (124) uvan kubagasaba habi miriba
 uva=n kubagasa=ba habi miri=ba.
 お前もクバ笠をかぶってみろ。
- (125) jaduju fuu.
 jadu=ju fuu.
 戸を閉める。
- (126) kjuuja accariba jadoo foonun.
 kjuu=a accariba jadu=a foonun.
 今日は暑いから戸は閉めない。
- (127) juube izanudu jaduju fuuta.
 juube iza=nu=du jadu=ju fuuta.
 昨夜、お父さんが戸を閉めた。
- (128) jaduba fuiti paaku waatta.
 jadu=ba fuiti paaku waatta.
 戸を閉めて、早く行かれた。
- (129) uva jaduba fuiti kuu.
 uva jadu=ba fuiti kuu.
 お前が戸を閉めてこい。
- (130) usitoo tankasi nivun.
 usitu=a tanka=si nivun.
 弟は一人で寝る。
- (131) tankasija nivanun.
 tanka=si=a nivanun.
 一人では寝ない。
- (132) futansidu nivuta.
 futar=si=du nivuta.
 二人で寝た。
- (133) nivi bundo
 nivi bur=do.
 寝ているよ。

- (134) kuzina niviti hacizina fukin.
 kuzi=na niviti hacizi=na fukin.
 九時に寝て八時に起きた。
- (135) kjuuja tankasi nivi miriba.
 kjuu=a tanka=si nivi miri=ba.
 今日一人で寝てみる。
- (136) mainici rokuzina fukirun.
 mainici rokuzi=na fukirun.
 毎日六時に起きる。
- (137) mada fukunun.
 mada fukunun.
 まだ起きない。
- (138) rokuzi=na fukita.
 rokuzi=na fukita.
 六時に起きた。
- (139) paaku fuki patakehe patta.
 paaku fuki pataki=ha patta.
 早く起きて畑に行った。
- (140) uvan paaku fuki kuu.
 uva=n paaku fuki kuu.
 お前も早く起きてこい。
- (141) seefukuju kisun.
 seefuku=ju kisun.
 制服を着る。
- (142) unu kinna vusitarireriba tarn kisanun.
 unu kin=a vusitarireriba tar=n kisanun.
 この着物は古くなっているから誰も着ない。
- (143) uree kinoo kisuttawaja.
 uri=a kinoo kisutta=waja.
 これは昨日着たよ。

- (144) banaa akanu kinba kisi
 banaa aka=nu kin=ba kisi
 usitoo aunu kinba kisjee.
 usitu=a au=nu kin=ba kisee.
 私は赤い服を着て、妹は青の服を着た。
- (145) hai uriju kisi miriba.
 hai uri=ju kisi miri=ba.
 ほら、これを着てみろ。
- (146) subanaja sinsinudu birudo.
 suba=na=a sinsi=nu=du biru=do.
 そばには先生が座るよ。
- (147) zasikinaja tarn biranun.
 zasiki=na=a tar=n biranun.
 座敷には誰も座らない。
- (148) sinsidu bitta.
 sinsi=du bitta.
 先生が座った。
- (149) sinsjee biriti jarabee tati beetta.
 sinsi=a biriti jarabi=a tati beetta.
 先生は座って、子供は立っていた。
- (150) biri miriba.
 biri miri=ba.
 座ってみろ。
- (151) mainici terebidu miruwaja.
 mainici terebi=du miru=waja.
 毎日テレビを見るよ。
- (152) jakjuuja miranun.
 jakjuu=a miranun.
 野球は見ない。

- (153) terebijudu mitta.
 terebi=ju=du mitta.
 テレビを見た。
- (154) eigaba miridu haireta.
 eiga=ba miri=du haireta.
 映画を見て帰った。
- (155) hazinu fukiba funiba miriti kuba
 hazi=nu fukiba funi=ba miriti ku=ba.
 風が吹くから船を見てこい。
- (156) hanu pusoo mainici junu kutuba izu.
 hanu pusu=a mainici junu kutu=du izu.
 あの人は毎日同じことを言う。
- (157) darassa izanun.
 darassa izanun.
 嘘は言わない。
- (158) dusinkinudu darassaju izutta.
 dusinki=nu=du darassa=ju izutta.
 友達が嘘を言った。
- (159) hanu pusoo pukorasaba izitidu waatta.
 hanu pusu=a pukorasa=ba iziti=du waatta.
 あの人はありがとうと言って帰った。
- (160) izaha junainu iija narehendoti iziti kuu.
 iza=ha junai=nu ii=a narehen=do=ti iziti kuu.
 お父さんに夜ご飯ができたよと言ってこい。
- (161) semee sugu sinundo.
 semi=a sugu sinun=do.
 セミはすぐ死ぬよ。
- (162) jamatta sugutija sinanundo.
 jamatta sugu=ti=a sinanun=do.
 ゴキブリはすぐには死なないよ。

- (163) sitakutara sinuta.
sitakutara sinuta.
叩いたら死んだ。
- (164) jamattanudu sini beerunu.
jamatta=nu=du sini beeru=nu.
ゴキブリは死んで、(ネズミも死んでいた。)
- (165) autan sini naanun.
auta=n sini naanun.
カエルも死んでしまった。
- (166) mainudu uraari ar.
mai=nu=du uraari ar.
米がたくさんある。
- (167) mukasjee umana haanudu atta.
mukasi=a uma=na haa=nu=du atta.
昔はここに井戸があった。
- (168) aarmanaja gakkonu ari
aarma=na=a gakko=nu ari
nisumanaja koominkannudu ar.
nisuma=na=a koominkan=nu=du ar.
東に学校があつて、北に公民館がある。
- (169) fusinnu aridu tasikirarita.
fusir=nu ari=du tasikirarita.
薬があつて助けられた。。
- (170) maasunudu naan.
maasu=nu=du naan.
塩がない。
- (171) sitan naantan.
sita=n naantan.
砂糖もなかった。

- (172) poccanu naanatturi kisu kutu narantan.
 pocca=nu naanatturi kisu kutu narantan.
 包丁がなくて切ることができなかった。
- (173) duunu jaanaja innudu bur.
 duu=nu jaa=na=a in=nu=du bur.
 我が家には犬がいる。
- (174) tunarnu jaanaja inna buranun.
 tunar=nu jaa=na=a in=a buranun.
 隣の家には犬はいない。
- (175) mukasjee majan butta.
 mukasi=a maja=n butta.
 昔は猫もいた。
- (176) unu pusoo usitunu buriti
 unu pusu=a usitu=nu buriti
 banaa sizanudu bur.
 banaa siza=nu=du bur.
 この人には弟がいて、私は兄がいる。
- (177) marumahara siirundo
 maruma=hara siirun=do.
 今からするよ。
- (178) kjuuja nuun suunu.
 kjuu=a nuu=n suunun.
 今日は何もしない。
- (179) kinoo sigutuju uraari sitta.
 kinoo sigutu=ju uraari sitta.
 昨日仕事をたくさんした。
- (180) sigutuba si asabin patta.
 sigutuba si asabi=n patta.
 仕事をして、遊びに行った。

- (181) jakoonsukun sigutuju siiri.
 jakoonsukun sigutu=ju siiri.
 休まないで仕事をしろ。
- (182) gakkona gii binkjoo sii kuu.
 gakko=na gii binkjoo sii kuu.
 学校に行つて、勉強してこい。

2. 形容詞活用

原田走一郎(2014, 2016)では、黒島の形容詞の活用として二種類あることを指摘する⁴。一つは「普通形容詞」で、もう一つは「比較形容詞」の活用である。さらに、それぞれは、語根にそのまま屈折接尾辞を付して活用するか、形容詞化接尾辞-ha-を付して形容詞語幹になって活用するかで異なるという。そのため、guffa「重い」のほうをグループ A、guma「小さい」のほうをグループ B としている。

(183) 語根 guffa「重い」からの普通形容詞と比較形容詞の派生

- | | |
|----------|-------------|
| a. 普通形容詞 | b. 比較形容詞 |
| guffa-ta | guffa-ku-ta |
| 重い-PST | 重い-CMPR-PST |
| 重かった | 重かった |

(184) 語根 guma「小さい」からの普通形容詞と比較形容詞の派生

- | | |
|---------------|--------------|
| a. 普通形容詞 | b. 比較形容詞 |
| guma-ha-ta | guma-ku-ta |
| 小さい-ADJVZ-PST | 小さい-CMPR-PST |
| 小さかった | 小さかった |

今回は東筋集落での普通形容詞の活用を収録した。まず、グループ A の形容詞をあげる。用例は原田が採取した。動詞の場合と同様に、一行目に簡易音素表記を書き、二行目に形態素に分析した形を書くこととした。

- (185) 非過去
- | | | |
|-----|-------|--------|
| unu | isjee | guffa. |
| unu | isi=a | guffa. |
- この石は重い。

⁴ 原田走一郎 (2014) 「南琉球八重山黒島方言における形容詞のサブグループ : 接辞 Ku が続く形式に注目して」『阪大日本語研究』26号 p.71-p.85
 (2016) 『南琉球八重山黒島方言の文法』未公開博士論文 (大阪大学)
<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/dspace/handle/11094/55692>

- (184) 過去
 gumaha sjee keeja aidacinu guffata.
 gumaha sjee kee=a aidaci=nu guffata.
 小さい頃は杵が重かった。
- (185) 非過去連体
 guffaru isjee baa muti parundo.
 guffaru isi=a baa muti parun=do.
 重い石は僕が持って行くよ。
- (186) 過去連体
 guffataru aidacinudu maruma harahara nareesa.
 guffataru aidaci=nu=du maruma harahara naree=sa.
 重かった杵が今は軽い。
- (187) 連用修飾
 guffa nari naansa.
 guffa nari naan=sa.
 (赤ん坊を抱き上げて)重くなったね。
- (188) 否定
 guffa naanunwaja.
 guffa naanun=waja.
 重くないね。
- (189) 否定過去
 kuzu baakee guffa naantanura.
 kuzu baaki=a guffa naanta=nu=ra.
 去年までは重くなかったのにね。
- (190) 仮定
 guffakka hasaija naranun.
 guffakka hasai=a naranun.
 重かったらおんぶできない。
- (191) 理由
 guffariba hasaija narnaun.
 guffariba hasai=a naranun.
 重いからおんぶはできない。

- (192) 並列
 unu vaa guffaturi uboho.
 unu vva=a guffaturi uboho.
 この子は重くて、大きい。

- (193) 比較
 umanu vaanudu guffakudu ar.
 uma=nu vva=nu=du guffaku=du ar.
 こっちの子のほうが重い。

次にグループ B の普通形容詞の活用の例をあげる。

- (194) 非過去
 kunu izoo maahan.
 kunu izu=a maahan.
 この魚はおいしい。

- (195) 過去
 hatosi izoo maahattan.
 hatosi izu=a maahattan.
 ハトシはおいしかった。

- (196) 非過去連体
 maaharu izutankadu vaipisa.
 maaharu izu=tanka=du vvaipisa.
 おいしい魚だけを食いたい。

- (197) 過去連体
 maahattaru izu.
 maahattaru izu.
 おいしかった魚。

- (198) 連用修飾
 unu misoo maaha nareewaja.
 unu misu=a maaha naree=waja.
 この味噌はおいしくなったね。

- (199) 否定
 unu izoo maaha naanun.
 unu izu=a maaha naanun.
 この魚はおいしくない。
- (200) 否定過去
 maaha naantan.
 maaha naantan.
 おいしくなかった。
- (201) 仮定
 maaharka vaipisa.
 maaharka vvaipisa.
 おいしかったら食べたい。
- (202) 理由
 unu mucjee maahariba uraari haa.
 unu mucu=a maahariba uraari haa.
 この餅はおいしいからたくさん買おう。
- (203) 並列
 unu mucjee maahatturi jassando.
 unu mucu=a maahatturi jassan=do.
 この餅はおいしくて、安い。
- (204) 比較
 kumanu mucinudu maakusa.
 kuma=nu mucu=nu=du maaku=sa.
 こっちのもちのほうがおいしい。

一方、荻野が保里集落で形容詞活用の調査をしたところ、東筋集落とは異なる活用の形態が見られた。例えば、連体形では、接辞の-ruが出てこない。-ruをつけても意味は取れるが、通常はつけないと判断される。

- (205) piija-ku-tta huju=du atta.
 寒い冬だった。
- (206) niffa-ha=junti isi=ba jari parasita=waja.
 憎いから石を投げて（猫を）追いやったよ。

(205)は東筋集落では/piijakutaru/となるが、保里集落では/piijakutta(a)/となる。また、(206)の「にくい」は、東筋集落ではグループ A に入るようだが、保里集落ではグループ B の活用をする。そこで、原田(2014)でグループ A とされている形容詞のいくつかを調査すると、以下の表のようになった。なお、形態は話者が共通語を黒島方言に翻訳したままを載せることとする。結果として音声等何らかの相違点が見られる場合に表の右端に○印をつけ、どのような点が異なるのかを簡単に書いた。こうしてみると、音声や形容詞のグループ分けや意味用法の相違等、黒島内での集落間での違いを意識して調査する必要があるのではないかと考える。

表 東筋集落と保里集落の形容詞の相違

	東筋(原田による)	保里(今回調査)	相違点
重い	guffa	guffanu	
にくい	miffa	niffahanu/miffahanu	○グループ B
きたない	janija	janija	
寒い	piija	piija	
うれしい	sanija	sanijan.	
軽い	harra	haran	○促音
ひもじい	jaasa	jaasanu	
うるさい	hasamasa	hasamasanu	
うるさい	jagamasa		
難しい	musukasa	musukasanu/ mucukasan	○子音 s 音声
遠い	tuusa	tuusan	
さみしい	hamaarasa	sabissan	○意味 hamarasanu は「悲しい/悩む」
かわいい	hanasa	atarasan/ hanasan	○語彙
固い	koosa	koosan	
薄い	pissa	pisa du ar	○促音
悪い	wassa	barasan	○語彙

3. 「大きなカブ」

本節では黒島方言の「大きなカブ」を掲載する。今回は東筋方言、保里方言、仲本方言の三つが収録できたので、それぞれ 3.1 から 3.3.まで掲載する。その後、3.4.にてこれらの「大きなカブ」に見られた違いを指摘する。

3. 1. 東筋方言の「大きなカブ」

danikuni=nu panasi=ju si ssusaru=di=ju.

だいこんの話を申し上げますよ。

ubuzaa=ja daikuni=nu tani=ba=du maki watta=tu.

おじいさんがだいこんの種をまきなさった。

amahaaru amahaaru daikuni=he nari=jo.

甘い甘いだいこんになれよ。

uboobina uboobina daikuni=he nari=jo.

大きな大きなだいこんになれよ。

amahaaru ganzuu aa munu=nu uboobina daikuni=nu dekiri tabooreta=tu.

甘いりっぱな 大きなだいこんができました。

ubuzaa=ja daikuni=ju tanka=si nuun=ti sita=nu=du nooruntan.

おじいさんはだいこんを一人で抜こうと したけど 抜けなかった。

ubuzaa=ja paa=ba saari waari

おじいさんはおばあさんを連れていらして

paa baa aizu siika sikara nzahai=jo=tti izi izi watta=tu.

「おばあさん。私が合図したら力をだしなさいよ。」と言って 言いなさったと。

paa=ja ubuza=ju hasamiriba=du ubuzaa=ja daikuni=ba hasami

おばあさんがおじいさんをつかんで おじいさんがだいこんをつかみ

untokosjo dokkoisjo=tti izi sikara=ba nzasi

うんとこしょ、どっこいしょ、と言い 力を出して

daikuni=ju nuutta=nu=du noorunta=tu.

だいこんを抜いたけど抜けなかった。

paa=ja maa=ba saari waareta=tu.

おばあさんは孫を連れていらっしやった。

maa=ja paa=bu hasamiriba=du paa=ja ubuza=ju hasami

孫はおばあさんをつかみ おばあさんはおじいさんをつかみ

ubuzaa=ja daikuni=ba hasami

おじいさんはだいこんをつかんで

baa aizu siika sikara nzahai=jo=tti izi ubuza izi watta=tu.

「私が合図したら 力をだしなさいよ。」って言い、おじいさんはおっしやったと。

untokosjo dokkoisjo=tti micaan=si pikuta=nu=du

うんとこしょ、どっこいしょ、と、三人で引いたけど

pikimaki sitta=tu.

引けなかったと。

maa=ja in=ba saari futa=tu.

孫は犬を連れてきたと。

in=na maa=ju hasamiriba=du

犬が孫をつかんで

maa=ja paa=ju hasamiriba=du

まごがおばあさんをつかんで

paa=ja ubuza=ba hasami

おばあさんがおじいさんをつかみ

ubuzaa=ja daikuni=ba hasami

おじいさんはだいこんをつかんで

ubuzaa=du baa aizu sika

おじいさんは「自分が合図したら

mazun sikara nzahai=jo=tti izi watta=tu.

一緒に力をだしなさい。」とおっしやったと。

untokosjo dokkoisjo=tti izi

うんとこしょ、どっこいしょ、と言い

pikuta=nu=du pikarunta=tu.

引いたけど、引けなかったと。

maa=ja in=ba saari futa=tu.

孫は犬を連れてきたと。

maa=ja paa=ba hasamiriba=du

孫がおばあさんをつかんで

ubuzaa=ja daikuni=ba hasami

おじいさんはだいこんをつかみ

in=na majaa=ba saari futa=tu.

犬は猫を連れてきたと。

majaa=ja in=ju hasamiriba=du

猫は犬をつかみ

maa=ja paa=ba hasami

孫はおばあさんをつかみ

ubuzaa=ja daikuni=ba hasami

おじいさんはだいこんをつかみ

too baa aizu siiriba

「さあ、自分が合図をしたら

untokosjo dokkoisjo=tti izi

うんとこしょ、どっこいしょと言い

majaa=ja ujanču=ba saari futa=tu.

猫はネズミを連れてきたと。

majaa=ja in=ba hasamiriba=du

猫は犬をつかみ

maa=ja paa=ju hasami

孫はおばあさんをつかみ

ubuzaa=ja daikuni=ba hasami watta=tu

おじいさんがだいこんをつかみなさったと。

too baa aizu siiriba

「さあ、私が合図をしたら、

mazun sikara nzasi=turi ganbari taboori=ti izi watta=tu.

一緒に力を出しながらがんばってください」とおっしゃったと。

untokosjo dokkoisjo=ti izi pikuta=nu=du pikimakijan.

うんとこしょ、どっこいしょ、と言い、引いたけど引けなかった。

ujanču aar=ba saari futa=tu.

ネズミは蟻を連れてきたと。

ujanču=ja maja hasamiriba=du

ネズミは猫をつかんで

in=na paa=ju hasamiriba=du

犬はおばあさんをつかんで

ubuzaa=ja

おじいさんは

baa aizu siika mazun sikara nzasi taboori=ti izi watta=tu.

「私が合図したら、一緒に力を出してください。」とおっしゃったと。

in=na maa=ju hasamiriba=du

犬が孫をつかんで、

paa=ja ubuza=ba hasami

おばあさんがおじいさんをつかみ

jutaar=si sitta=nu=du pikimaki waareta=tu.

四人でしたけど、引けなかったと。

in=na maa=ju hasamiriba=du

犬は孫をつかみ

paa=ja ubuza=ba hasami

おばあさんはおじいさんをつかみ

sikara mazun nzahai=jo=tti izi wat=tara

力を一緒にだささいよ。」とおっしゃったら

pikuta=nu=du pikimakijan.

引いたけど、引けなかった。

ujanču=ja majaa=ju hasamiriba=du

ネズミは猫をつかみ

in=na maa=ju hasamiriba=du

犬は孫をつかみ

paa=ja ubuza=ba hasami

おばあさんがおじいさんをつかみ

untokosjo dokkoisjo=tti izi sikara=ba awasi piku kee=du pikari watta=tu.
うんとこしょ, どっこいしょ, と言い 力を合わせて引くと, 引けましたとき。

3. 2. 保里方言の「大きなカブ」

ubo?bi=nu daikuni.

「大きなだいこん」

ubuza daikuni=nu tani=ju maki watta=tu.
おじいさんはだいこんの種を まきなさった。

amahaaru amahaaru daikuni=he nari.
甘い甘い だいこんになれ。

ubo?bi=nu ubo?bi=nu daikuni=he nari.
大きな 大きな だいこんになれ。

amahaaru ganzuu aru ii daikuni=he nari taboori.
甘いりっぱなだいこんになってください。

daikunee miiri wattan.
だいこんが 実りました。

ubuza daikuni=ju pikun=ti sii wattan.
おじいさんはだいこんを 引こうとしなさった。

jooisjo jooisjo=tti izi pikutta=nu
よいしょ, よいしょと言って引いたけど

unu daikunee pikaruntan.
そのだいこんは 引けなかった。

ubuza paa=ba jubi kii paa=ja ubuza=ba hippari
おじいさんはおばあさんと呼んできて おばあさんはおじいさんをひっぱり

ubuza daikuni=ju hippari
おじいさんはだいこんをひっぱり

jooisjo jooisjo=ti pikuta=nu ai sin daikunee
よいしょ, よいしょって引いたけど そうしてもだいこんは

nooruntan. paa=ja maa=ba jubi kii
抜けなかった。 おばあさんは 孫を呼んできて

maa=ja paa=ba hippari paa=ja ubuza=ba hippari=turi
孫はおばあさんを引っぱり おばあさんはおじいさんを引っぱりながら

jooisjo jooisjo=tti izi hippata=nu
よいしょ, よいしょって言って引っぱったけど

maa ai sin unu daikunee pikaruntan.
まだどうしても そのだいこんは 引けなかった。

maa=ja in=ba jubi kii in=na maa=ba hippari maa=ja paa=ba hippari=turi
孫は犬を呼んできて 犬が孫を引っぱり 孫は おばあさんを引っぱりながら

paa=ja ubuza=ba hippari=ti
おばあさんは おじいさんを引っぱりながら

ubuza daikuni=ju hippatta=nu ai sin nooruntan.
 おじいさんはだいこんを引っぱったけど そうしても抜けなかった。
 maja=ba jubi kii majaa in=ju hippari in=na maa=ju hippari
 猫を呼んできて 猫は 犬を引っぱり 犬は孫を引っぱり
 maa=ja paa=ba hippari ubuza paa=ja ubuza=ba hippari
 孫はおばあさんを引っぱり おじいさん おばあさんはおじいさんを引っぱり
 ubuza daikuni=ju hippata=nu
 おじいさんはだいこんを引っぱったけど
 untokosjo dokkoisjo=tti izi hippata=nu
 うんとこしょ、どっこいしょと言って 引っぱたけど
 ai sin daikunee noorun…pikaruntan.
 そうしても だいこんは引けなかった。
 ujancoo=ba jubi kii=turi ujancoo maja=ba hippari majaa in=ba hippari
 ネズミを呼んできて ネズミは 猫を引っぱり 猫は犬を引っぱり
 in=na maa=ba hippari maa=ja paa=ba hippari
 犬は孫を引っぱり 孫はおばあさんを引っぱり
 ubuza paa=ja paa=ja ubuza=ba hippari=ti
 おじいさん おばあさんは おばあさんはおじいさんを引っぱり
 ubuza daikuni=ju hippata=nu hippari=turi
 おじいさんは だいこんを引っぱったけど 引っぱりながら
 jooisjo jooisjo=tti izi hippari ujancoo an=ba jubi kii
 よいしょ、よいしょって言って 引っぱり ネズミは 蟻を呼んできて
 an=na ujancoo=ba hippari ujancoo maja=ba hippari=ti
 蟻は ネズミを引っぱり ネズミは 猫を引っぱって
 in=ju hippari hippari=ti in=na maa=ba hippari=ti
 犬を引っぱって 引っぱって 犬は孫を引っぱって
 maa=ja paa=ba hippari=ti paa=ja ubuza=ba hippari
 孫はおばあさんを引っぱって おばあさんはおじいさんを引っぱり
 ubuza daikuni=ju hippari
 おじいさんは だいこんを引っぱり
 jooisjo jooisjo=tti hippari=ti
 よいしょ、よいしょって引っぱって
 joojaku unu daikunee pikarita=ju.
 ようやくそのだいこんは引かれましたよ。

3. 3. 仲本方言の「大きなカブ」

ubu+daikuni=nu panasi
 大きな大根の話

kjuu=nu waasiki=nu haijarura
今日の天気がきれいですね
ubuza kjuu=ja pataki=na gii
おじいさんは今日は畑へ行き、
daikuni=nu tani makuta
大根の種を蒔いた。
pataki=ba haisiti kuba
畑を耕してこい
tida=nu tiriti ami=nu=du fuu
太陽が照って、雨が降る
uri=si misan
「これでいい」
pataki=ba haisjeeriba
「畑を耕したから
daikuni=nu juu dikiru=pazi
大根がよくできるはずだ」
kundu=nu daikuni=ja pudubi=pazi
「今度の大根は大きくなるはずだ」
pisun=si=n pikarunun
一人でも引かれない。
uri=ja futan=si=man=du pikari=pazi
これは二人で引かれるはず
ubuza=ja paa=ba jurabi kii
おじいさんはおばあさんと呼んできて
futan=si=man pikun=ti siiru=nu=du pikarunun
二人で引こうとしても引かれない
paa=nu=du maa=ba jurabi kii mican=si=man
おばあさんは孫を呼んできて三人で
ijaasa ijaasa=ti piku=nu=du pikarunun
いやーさ いやーさ と引くけど引かれない。
pirumasi munu
珍しいこと
kundu=ja maa=nu=du in=ba saari kii
今度は、孫が犬を連れてきて
wan wan ijaasa
わんわん いやーさ
ubuza=tu paa=tu maa=tu in=si=n pikarunun
おじいさんとおばあさんと孫と犬でも引かれない。

in=nu=du maja=ba saari kii

犬は猫を連れてきて

mjao mjao ijaasa ijaasa

みやおみやお いやーさ いやーさ

atu imeemi ariba

あと少しだから

maa pisusai sikara=ba nzasi mikka pikariru pazi

もう一度力を出してみると引かれるはず

maja=nu=du ujancju=ju saari kii

猫はネズミを連れてきて

cju cju cjuu

ちゅちゅちゅー

ujancju=nu=du maja=ju pikisikiruwara

ネズミが猫を引っ張るよね

maja=nu=du in=ju pikisikiruwara

猫は犬を引っ張るよね

in=nu=du maa=ju pikisikiruwara

犬は孫を引っ張るよね

maa=nu=du paa=ju pikisikiruwara

孫はおばあさんを引っ張るよね

paa=nu=du ubuza=ju pikisikiruwara

おばあさんはおじいさんを引っ張るよね

ijaasa ijaasa

いやーさ いやーさ

keera=si=man pinikkairu kee=na sikara=ba nzasi

みんなではね返るくらいに力を出して

pikiti=na=du pikaritando

引くと引かれたよ

narehendo

できたよ

uri=si=man junai=ja

それで晩ご飯は

ubu+daikuni=nu suu ba neesi

大きな大根の汁を煮て

keera=si=man nki maahattando

みんなで食べて、おいしかったよ

ubu+daikuni=nu panasi=ja uwari=dora

大きな大根の話は終わりだよ

3. 4. 各方言による「大きなカブ」に見られる違い

本節では、各方言の「大きなカブ」に見られた違いについて述べる。しかしその前に確認のため述べておくと、これらはすべてどの集落においても通じる。相互理解が不可能なほどの違いがあるわけではない。

まず、声門閉鎖音を伴う形容詞語根重複形があげられる。これは保里方言の「大きなカブ」にのみあらわれた。この声門閉鎖音を伴う形容詞語根重複形は、zoʔsso「白々」や voʔffo「黒々」などにも観察される。この声門閉鎖音が含まれたかたちは他の方言では今回の「大きなカブ」では観察されなかった。東筋方言においてはこの変異は普段の会話では聞かれない。ただ、この言い方に違和感があるかということそうではないようである。

2点目として挙げられるのは、「呼ぶ」という動詞の違いである。保里方言では jubu であるのに対し、仲本方言では jurabu である。東筋方言の今回の資料にはこの語が出てきていないが、jurabu である。このように小さな島内でも語根レベルで違いがあることがわかる。

3点目として挙げられるのは、「ネズミ」の語形である。東筋方言と保里方言が ujancu であるのに対し、仲本方言は ujancju である。このような差があることは実は島内ではよく知られている。ただ、ujancu と ujancju という語形がある、ということは知られているが、どこの集落がどの語形を使っているか、という細かい点までは知られていない。仲本の方言と保里の方言は似ている、と言われているが、このような差が出たことは興味深い。

4. 挨拶などの表現

今回は、保里集落での談話を収録した。A が男性、B が女性である。昔、どのような挨拶の会話がなされていたかを、保里集落内を中心にして再現してもらった。

1 道で会ったときの挨拶

B: (道であったときに) maa=ha=du pariba=ja?

(道であったときに) どこへいくのか?

A: kjuu=ja umi=hee=doo.

今日は海へいくよ。

(「tairjoo=ba sii waariba=kaa.と言いなさい」と指示。)

(「大漁をしてくださいね。」)

B: nigai sukuba=ka=mee tairjoo=ba sii waariba.

願わくば、大漁をしてください。

A: nn.

うん。

B: tairjoo=ba sii waaka mata atu=hara furu=wa.

大漁したときには後から行くよ。

izu hajaa=taana furu=wa.

魚を買いに行くよ。

A: nigai sikiri=jo.

願っておけよ。

2 夕方の挨拶

A: tida=n irigata nari naanu=wa.

太陽が沈む頃になったね。

B: tida=n irigata nari naaniba mee

太陽も沈む頃になったから

jui suu=ba=du nariba mee bana {para./ pari=du sii=doo} .

夕飯をしないとイケないから、私は帰るよ。

3 買い物に行ったあとの話

B: macija geeta=nu nuu=nu unu maaha munu=nu attara

お店にいったけど、何かあの、美味しいものがあったから

banu=n haiken=doo.

私も買ってきたよ。

A: namasee naantanu?

さしみはなかったの？

B: namasee naanta=saa.

さしみはなかったよ。

A: misaadaa=ka mee.

いいよ。

4 結婚が決まったときの挨拶

A: zinan=nu ii psu=ba atari=turi unu furu zjuunigaci songaci mai=nin=na

次男がいい人にあたって あの くる12月、正月前に

siki=n aguba=ti umui bee=waja.

式挙げようと思っているよ。

B: ii kutu=ti=du umi bee=doo. banta=n annai=ja sii taboori=joo=ra.

おめでたいことって思いますよ。 私たちに案内をしてくださいね。

A: uree mee siirun=te umui=du buu. unu tuki=ja mata keera=siman

それは、しようと思っているよ。 そのときは、またみなさんで

jurukubi=turi mata teenai=ba si taboori=tturi ii joi simasimi taboori=joo.

喜んで、また お手伝いをして お祝いをすませてください。

B: bante=nu sakusi=nin=nun mada joi=ja suuna beeriba ajahari taboorasi waari=joo=raa.

我が家の長男もまだ結婚をしていないので あやからせてください。

5 魚を捕って帰ってきたときの話

A: kjuu=ja tairjoo=doo.

今日は大漁だよ。

B: hjaa. miri miran sikaa tairjoo=ja=waja. maaha waa=turi=raa.

まあ。見たことがない大漁だね。 おいしそうだね。

izu=naa azakee=turi=ra.

魚はつぶぞろいで使い用のあるものだね。

A: izu=nu jooran=kee paaku {sabaka/bazaa}naaka naranun. abattiri=joo.
魚が悪くなる（弱る）から早くこしらえないといけない。 急ぎなさい。

B: koori mee turiki koori mizi=hee irirun?
氷を取ってきて、氷を水へ入れる？

A: koori mizi=naa=jun hari=ba iriri. koori muti kuu.
氷水にも あれ（氷）をいれて。 氷を持ってこい。

mata paaku bazai reizooko=ho=n iru naaka naran=doo.
また、早くさばいて 冷蔵庫にも入れないといけないよ。

mata aasun=ha=n haasin=na pariba=du nariba. abattiri=joo.
また東筋に売りに行ないといけない。 急げよ。

B: kjuu=ja taa taa mun=nu ariba=ja?
今日は誰々のものがあるのか？（誰の注文があるのか？）

A: mi kibun juu kibun hara=n cjuumun=nu ari=du buu munu=nu
三、四軒からも、注文があるので
abattu naaka joorun=kee abattu naaka naranun=doo.
急がないと弱るから急がないといけないよ。

B: kjuu=jun acca=n ari=wara.
今日も明日もあるよ。

paaku paaku=ti umuttan=tin=ka uree izu=nu uraha=nu
早く早くと思っても これ 魚が多くて

bazai moohorunu=waja.
さばけないよ。

A: bazau sindai reizooko=ju iri usiki=tti atu=hara
処理したら冷蔵庫にいれておいて、あとから
muti paraba misariba manuma
持っていかないといけないから 今は
toriaezu mee paaku izu bazau kutu.
とりあえず早く 魚をこしらえなさい。

【参考文献】

原田走一郎・荻野千砂子（2015）「黒島方言の文法スケッチーアクセント・動詞・形容詞の小考察」『琉球諸語 記述文法 I』消滅危機言語としての琉球諸語・八丈語の文法記述に関する基礎的研究